

論文審査結果の要旨

論文提出者	(氏名) 中村哲也
論文審査委員	主査 阿南 壽 印
	副査 田中芳彦 印
	副査 橋本修一 印
論文題目	The Effect of Insulin Administration and Antibacterial Irrigation with Chlorhexidine Gluconate on Disturbance of Periodontal Tissue Caused by Food Impaction in Streptozotocin-Induced Diabetic Rats
(論文審査結果の要旨)	
<p>本研究は、Streptozotocin 誘発糖尿病ラットを用い、歯肉コル部の器械的圧迫により惹起された歯周組織病変に対して、インスリン投与の効果および0.2%クロルヘキシジン酸塩溶液の病変局所への洗浄効果について、実験病理学的に検討している。インスリンを投与し高血糖を改善したDM+Ins群では、上皮の再生やコル部歯肉の修復傾向が認められた。また、歯槽骨の吸収は減少し、新生骨の添加像が観察され、非糖尿病群とほぼ同様の修復性変化が認められた。一方、0.2%クロルヘキシジングルコン酸塩溶液により病変局所を洗浄したDM+Chlo群では、DM+Ins群よりも組織修復の遅延が認められた。また、歯周組織に修復性変化が生じ洗浄効果を認める症例も観察される一方、破壊性変化が消失しない症例も観察され、DM+Chlo群の修復効果はDM+Ins群に比べて低いことが推察された。以上の結果より、高血糖状態の改善により炎症が惹起された歯肉コル部は修復傾向を示すが、0.2%クロルヘキシジングルコン酸塩溶液による病変局所の洗浄では、破壊された歯周組織の回復は困難であることが示唆された。本研究成果は、糖尿病患者の歯周治療に臨床的エビデンスを与えるものであり、学位論文に値すると考える。</p>	